

8. 濃尾平野観測網の AIN への統合

正木和明・落合鋭充

1. 濃尾平野地震観測ネットの概要

本観測ネットは、兵庫県南部地震の発生直前に観測ネットを構築し、貴重な強震記録を観測した関西地震観測研究会の活動をモデルとして、土木工学科防災研究室が、平成8年から5年間をかけてアルタス K2 型地震計（一部エトナ地震計）を、濃尾平野東西測線の8か所に設置した観測ネットである。その後、観測は地道に継続され現在に至っている。観測記録は、卒研、佐口論文に提供され成果を得ている。

2. 問題点

観測記録は、地震計に内蔵されたカードに記録され、後日学生が数カ月に一度 PC を持参して回収することになっている。当初は卒研として観測を続行していたが、その後卒研テーマにならなくなり、回収率が低下した。現在では、1年に1回程度であり、地震計のメンテナンスも1年に1回程度となった。

3. 平成21年度計画

地震防災コンソシアムで構築した AIN 観測ネットは、地震計に PHS を取り付け、センターからの常時監視と記録回収が可能なシステムである。21年度はこの AIN システムを濃尾平野観測網に展開した。

4. 平成21年度実績

改修は佐藤商事に依頼し、現在4地点からの PHS 通信は可能となっている。年度内に残り2地点の改修を実施する。

改修地点（4地点）：稲沢市日下部、稲沢市千代田、平田町今尾、蟹江町蟹江新田

改修予定（2地点）：日進市米野木、藤原町中里

改修の必要なし（1地点）：愛知工業大学（学内 LAN）

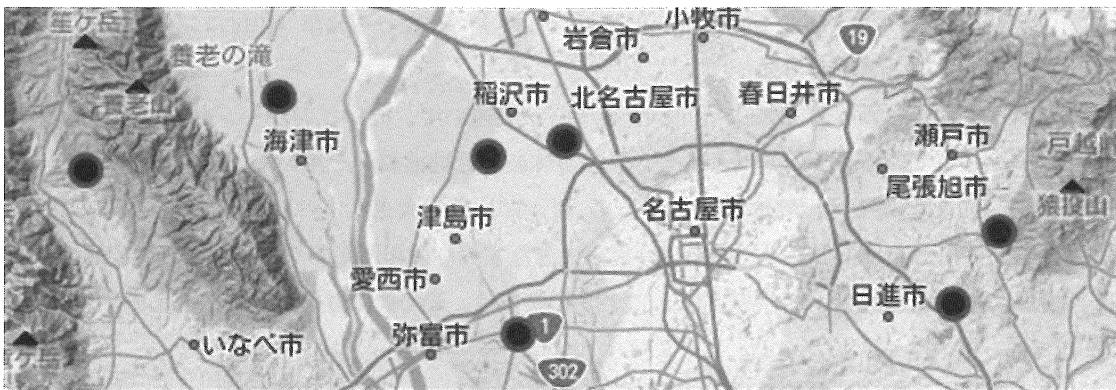


図1 濃尾平野地震観測網（中里、平田、千代田、日下部、蟹江、日進、愛工大）